

交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）メールマガジン



第11号（2014.4.20）

発行：交通環境学習メールマガジン事務局

（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）



■目次

1. 交通環境学習に関する寄稿

「柔軟な避難行動をとるためにも MM 教育を」

【東北工業大学 工学部 准教授 菊池輝】

2. ニュース／トピック

3. イベント、フォーラム、セミナー等の開催案内

4. その他

1. 交通環境学習に関する寄稿

「柔軟な避難行動をとるためにも MM 教育を」

【東北工業大学 工学部 准教授 菊池輝】

クルマ利用の習慣性が、震災時の避難行動に影響を及ぼす……。そう思うようになったきっかけは、今から3年前に起きた東日本大震災である。

津波がすぐそこまで来ているのに、そして高台からは「クルマから降りて高いところへ逃げろ」と皆が叫んでいるのに、そのクルマを運転していた人は「大切なものを積んでいるから」と言ってクルマから降りることなく、津波の犠牲者となってしまった。本学の学生が、岩手県大槌町の避難場所（高台）から見た光景を悲しげに語ってくれた。

石巻市内の某自動車学校の職員は、津波に囲まれた校舎の中から目にしたものを忘れない。それは、津波に流されていくクルマの中から助けを求める人の手だ。職員さんは冷たい津波の中に飛び込んで救出しようとしたが、間に合わなかった。

その自動車学校の協力で「自動車で避難し、助かった人たち」に震災時の避難手段に関するヒアリングを実施したところ、彼らはみな、強い自信を持って次のように言う。「次も絶対にクルマで避難する」と。しかし避難時の状況を詳しく聞くと、おそらくはクルマでの避難が偶然正解であったに過ぎない。そのとき走行していた道路では運良く渋滞がなかっただけ（石巻市内では発災後15分程でグリッドロック現象が発生していた）、道路を塞いだ倒木が幸いにも容易に撤去できたため、そんな偶然の結果に過ぎないのに、今回の成功体験がクルマへの依存をさらに強めた感を受けた。実際、大震災後の余震時にも、石巻市内では自動車渋滞が発生している。

※グリッドロック現象：道路容量を超える自動車が殺到することにより、自動車が道路上に滞留し、道路網全体が麻痺状態になる現象のこと。

ところで、仙台市内で実施した交通行動調査によると、震災の前後（震災の半年前と半年後）では、日常の利用交通手段に変化はない。あの震災の経験が、日常の「移動」を見直すきっかけにはならなかったのだ。しかし、少数ではあるが、日常のクルマ利用を見直した人たちもいた。彼らはなぜ見直したのだろうか。幾つかの心理指標を比較したところ、唯一有意な差が見られたのは「クルマへの習慣強度」であった。習慣強度が低い人は、日常の利用交通手段を変更する柔軟性を持っているのだ。この柔軟性は、震災時にその人を生存へと導く気がする。

しかし、クルマへの強い習慣性は、解凍が難しいのも事実である。であれば、習慣が強固になる前に、適切な MM 教育を行わなければならない。災害に強い社会を構築するためにも。

※本寄稿は、下記URLからファイルとしてダウンロードしていただけます。

http://www.mm-education.jp/magazine/MMedu_mailmagall.pdf

2. ニュース／トピック（取組みの実施結果や開催報告 等）

【交通環境学習関連の取組み】

●北陸信越運輸局では2月5日、新潟市立木戸小学校の6年生（105名）を対象に、誰もが高齢者や障がい者等に自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー社会」の実現をめざし、バリアフリー教室を実施。

http://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/hrt54/barrier_free/kido_es.html

●愛知県では、小学校高学年を対象に環境学習を推進することを目的とした環境学習副読本「わたしたちと環境」の内容をリニューアルした平成26年度版を作成。

<http://www.pref.aichi.jp/0000069735.html>

●伊予鉄道は4月9日、愛媛県松山市の済美平成中等教育学校で出前授業を開き、新入生136人に乗車マナーの講義を実施。

http://www.iyotetsu.co.jp/topics/14/manner_school.html

●香川県バス協会はサンメッセ香川で4月6日に、バスと綱引き対決や体験乗車会など、家族で楽しめるイベント「かがわバスまつり」を開催。

<http://www.bus.or.jp/oshirase/post-33.html>

●株式会社アドバコムと札幌らしい交通環境学習普及検討委員会は、「札幌市の公共交通について考える小学生作文コンクール2013年度」の結果を発表

https://www.ecochil.net/sapporo_koutuu_sakubun/

●札幌市の交通環境学習取組情報

<http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/gakusyu.html>

●仙台市の交通環境学習取組情報

https://www.city.sendai.jp/sumiyoi/kotsu/smart/1195111_1593.html

●富山市の交通環境学習取組情報

<http://www.toyama-raillife.jp/?tid=100072>

●堺市は次代を担う子どもたちに、科学のおもしろさや科学技術と日常生活との関わりを楽しく学ぶ場を提供することを目的として「堺で科学サカイエンス2014」をソフィア・堺（堺市教育文化センター）で開催、約4200人の市民が参加。

http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/hodo/hodoteikyoshiryo/kakohodo/teikyoshiryo_h26/teikyoshiryo_h2602/0203_03.files/0203_03.pdf

●合志市（熊本県）では3月12日に熊本電鉄の協力のもと「おとなのためのバスの乗り方教室」を開催。

<http://anotherday.way-nifty.com/clearday/2014/03/post-8b49-1.html>

●近畿運輸局では3月9日に開催される和歌山市社会福祉協議会主催の「わかやまし社協まつり」でバリアフリー教室を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/press/detail.cgi?kid=1392618043>

●中国運輸局では2月22日に「運輸事業者対象バリアフリー教室」を広島合同庁舎の海技試験場で開催。今回の教室は（公財）交通エコロジー・モビリティ財団の事業者向け専門研修をバリアフリー教室の中で実施したもの。参加者はバス、鉄軌道、タクシー、旅客船事業者計22名。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/topics/topics14031102.html>

●北海道運輸局は通勤時における環境にも優しい公共交通の利用を進める「北海道における『地域の足』確保キャンペーン（エコ通勤から始めよう）」を実施し、3月25日に平成25年度のキャンペーン効果を公表。

<https://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/presspdf/2603/260325kankyau.pdf>

●宮島口渋滞対策パーク&ライドで宮島へ快適アクセス／広島県では、日本三景・安芸の宮島と世界遺産・厳島神社の玄関口である国道2号宮島口周辺では、毎年観光シーズンに大変な賑わいによる混雑が生じているため、宮島観光の際は既設の駐車場に加え、臨時駐車場などと軌道系公共交通機関や航路（高速船）を利用したパーク&ライドの活用による快適なアクセスを勧めている。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/97/miyajimaguchi-park-and-ride.html>

●社会福祉法人・大阪府社会福祉協議会とテレビ大阪が主催し、第20回 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展「バリアフリー2014」が、4月17日から19日までの3日間開催。

http://barrierfree.jp/images/2014/outline/leaflet_barrierfree.pdf

3. 【イベント、フォーラム、セミナー等の開催案内】

【バス乗車体験やキャンペーン等に関する情報】

●IGRいわて銀河鉄道『中学生往復半額きっぷ』（岩手県）

土・日・祝日、長期休暇期間中の毎日、中学生はIGR全区間の往復運賃が半額（小児運賃と同じ）

<http://www.igr.jp/wp/tickets/%E4%B8%AD%E5%AD%A6%E7%94%9F%E5%BE%80%E5%BE%A9%E5%8D%8A%E9%A1%8D%E3%81%8D%E3%81%A3%E3%81%B7>

●エコファミリー制度（兵庫県神戸市）

土・日・祝日、年末年始、夏休みに市営バス、地下鉄等が大人1人につき同伴の小学生以下2人まで無料

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/project/traffic/ecomotion/page02.html>

【イベント、フォーラム、セミナー等の開催案内】

●レールバスとあそぼう 2014

日時：2014年5月3日（土）～5日（月）

場所：南部縦貫鉄道 七戸駅

主催：南部縦貫鉄道レールバス愛好会

<http://www.ogaemon.com/r-bus/2014iv.htm>

●エコライフ・フェア 2014

日時：2013年6月7日（土）11時～17時、8日（日）10時～17時

場所：代々木公園 ケヤキ並木／イベント広場

主催：環境省

<http://www.ecolifefair.go.jp/>

●第9回日本モビリティ・マネジメント会議

日時：2014年7月25日（金）～26日（土）

場所：北海道帯広市 とかちプラザ

主催：一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.icomm.or.jp/>

4. その他

- 第5回 E S T交通環境大賞の結果について 【E S T普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団】

http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2013_02.html

- 交通バリアフリーを題材とした学習プログラムの提供等をしています
【公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団】

小学生向け

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/education/bfeducation_top.html

中学生向け

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/education/bf_jrhigh_education_top.html

- 記事募集中本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）に関連する取り組みや話題、イベントの案内等を事務局までお寄せください。

→E-mail : mailmagazine@mm-education.jp



発行：交通環境学習メールマガジン事務局

（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）

バックナンバー（交通環境学習に関する寄稿）の閲覧はこちらから

<http://www.mm-education.jp/magazine.html>

配信申込はこちらから

http://www.mm-education.jp/mailmagazine_form.html

配信停止をご希望の方は下記アドレスまでご連絡ください

→E-mail : mailmagazine@mm-education.jp

交通環境学習（モビリティマネジメント）

教育ポータルサイト：<http://www.mm-education.jp/>

